

K E
気

SGH 通信

K O H
高海を素材とするグローバルリテラシー育成
～東日本大震災を乗り越える人材を目指して～

第15号 平成30年3月23日発行

【研究成果を広く発信】1月～3月に参加した発表会・研修会

1年生は12月のフィールドワーク（第14号既報）を終え、1月27日（土）に行われた学年発表会に向けて研究の成果をまとめてきました。12月までは課題研究を進めている2年生が中心となり、外部の発表会に参加してきましたが、1月以降は1年生も東京大学、若狭高校（福井県）、東北地区SGH課題研究発表会（仙台）などに参加して研究成果を発表しました。1月以降に参加した主な発表会・研修会は以下のとおりです。3月26日からは今年度最後の事業となるAPU研修を実施します。

月	日	イベント名	場所	参加数	内容
1	24	第3回気仙沼市防災フォーラム	気仙沼市中央公民館	2	防災教育の実践発表。研究の概要を口頭で発表。市内中学生と高校生の意見交換
1	28	けせんぬまマイプロジェクト発表会	□ship（海の市2階）	6	地方創生に向けてアクションプランを発表。
2	4	第5回全国海洋教育サミット	東京大学	10	全国で海洋教育を実践している小・中・高校生と意見交換
2	11	けせんぬま防災フェスタ	気仙沼市地域交流センター		防災に関する研究を行った生徒のポスターを掲示。
2	19	気仙沼市立大島小学校海洋教育発表会	気仙沼市立大島小学校	2	「島へ。」の編集に携わり、新たな大島の魅力を小学生に向けて発表。
2	17	若狭高校SSH発表会	福井県立若狭高校	10	1年生2題、2年生5題をポスター発表。気仙沼西高校からも1題発表。
3	20 21	東北地区SGH発表会	仙台白百合女子大学	14	英語口頭発表2題、日本語口頭発表2題、ポスター発表3題参加。
3	26 28	APU研修	立命館アジア太平洋大学	10	プレゼンテーション能力の向上などをねらいとした語学研修

学年発表会・総合学習発表会を開催

【学年発表会】1月27日（土）

大学関係者、市役所職員、市議会議員、地元企業、小中高の教員、保護者、学校評議員、地元報道機関、NPO法人など多くの方をお招きして1年「地域社会研究」73班、2年「課題研究I」34名がポスターセッション方式で1年間の研究成果を発表しました。

【総合学習発表会】3月17日（土）

第1部は成果発表会、第2部は防災フォーラムとして「活動成果の普及」と「幅広い世代の交流機会及び防災意識の向上」をねらいとして実施しました。発表会の運営を2年生創造類型が担当。ポスター発表には地方創生イノベーションスクール中学生チームと気仙沼市立階上中学校が参加しました。



台湾研修の報告



階上中学校の発表

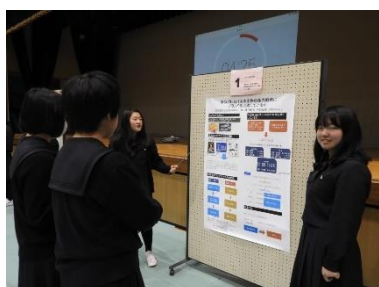


イノベーション中学生チーム

＜総合学習発表会：第1部の発表内容＞

- スライド発表 ・台湾研修報告 ・課題研究Ⅰ 英語発表 2題
- ポスター発表 ・1年「地域社会研究」10題 ・2年「総合的な学習の時間」課題研究 14題
- ・2年「課題研究Ⅰ」12題 ・調理部お弁当コンテスト2題 ・自然科学部2題
- ・生徒会1題雑誌「島へ。」1題 ・けせんぬまマイプロジェクトアワード5題
- ・地方創生イノベーションスクール 2030 高校生チーム1題，中学生チーム1題
- ・気仙沼市立階上中学校1題

第2部の防災フォーラムは「気仙沼の防災～すべての人が安全に暮らせるまちづくりのために～」をテーマとして実施。コーディネーターを東北大学災害科学国際研究所の川島秀一教授，パネリストを市内在住外国人（ニシャント・アンヌさん：アメリカ出身，三上はるなさん：韓国出身，小野寺百合さん：中国出身）・気仙沼市総務部危機管理課の小山隆晴さん・本校生活防災委員会副委員長の熊谷みのりさんをお願いしてパネルディスカッションを行いました。閉会行事の全体講評では東北大学災害科学国際研究所 佐藤翔輔 准教授から「人を見て発表する」「発表の時間を守る」「比較する上での軸，基準，定義を定めることの大切さ」などについてアドバイスをいただきました。昨年同様，高校入試の合格者にも開催案内を配布。40名を超える入学予定者が参加してくれました。



1年生も頑張りました！



お弁当，おいしく頂きました



安全な気仙沼市を皆の手で！

この1年間で伸びた資質・能力を自己評価しました

本校のねらいとする「グローバルリテラシー（GL）」が1年間の活動でどこまで到達したのかを1・2年生全員に自己評価してもらいました。下記「12の項目（資質・能力）」について，文章表現された5段階のどのレベルまで到達したのかを各自でチェックしたもので，11月と2月に実施しました。自己評価ということで客観性を欠いている面はありますが，この結果から学校全体のGL到達状況や学年ごとの伸長度を見ることができます。また，段階3（学校が到達して欲しい段階）以上と評価した資質・能力がある場合は，1年間のどの活動が影響したのかを「19の活動」から最大3つ選んでももらいました。裏面の結果をご覧ください，子どもがどの段階に到達したと自己評価したのか聞いてみて下さい。

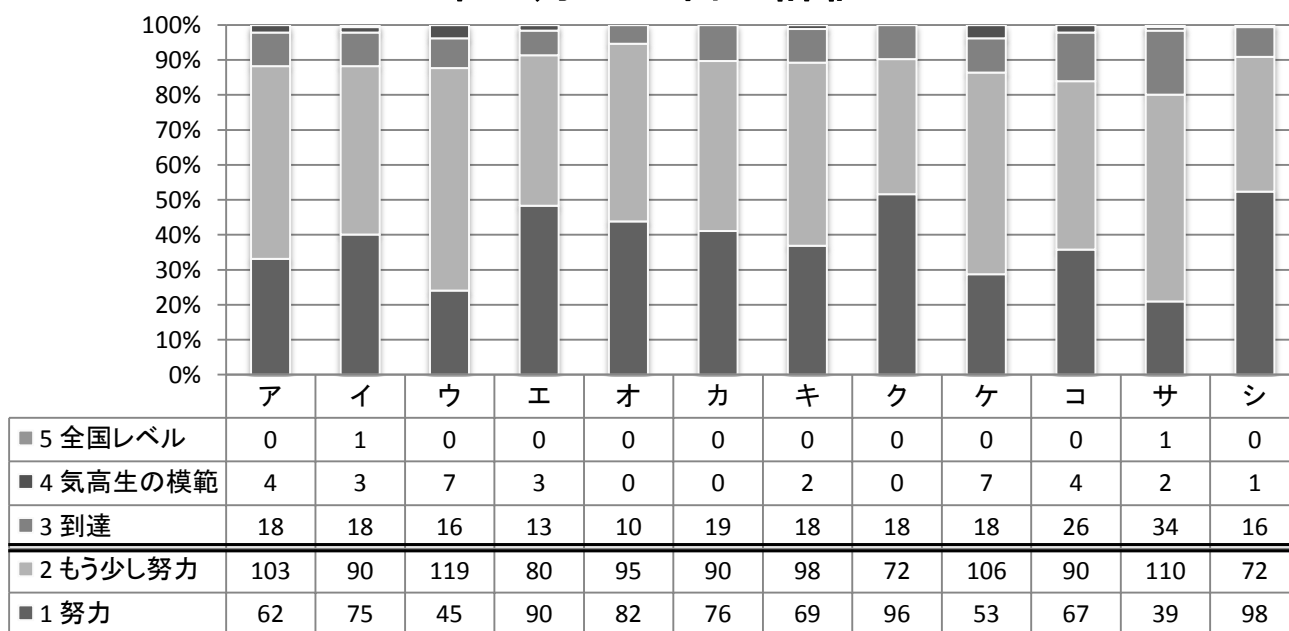
【5段階】 1：努力を期待する段階 2：もう少しの努力を期待する段階 3：気高生として到達して欲しい段階， 4：気高生の模範となる段階， 5：全国レベルで高校生の模範となる段階

		3 到達して欲しい段階
基礎的・基本的な知識・技能	ア 知識・技能	日常的に計画的な予習・復習などの家庭学習に取り組み，教科等の基礎的な知識技能を習得している。単元の学習の見通しに基づいて学習を進め，振り返りを行っている。
	イ 学ぶ方法	自らの志の実現を意識して，学習法を身に付け，計画的に家庭学習に取り組み，自分の学習スタイル(何を，どんな方法で，どこで等)が確立されている。
思考力	ウ 批判的思考力・科学的思考力	これまで得た知識・理解を活用し，授業や課題研究活動において，妥当な比較のもと，合理的客観的な根拠によって自分の意見を述べることができる。未解決な課題を明確化することができる。
	エ 総合的思考力・未来思考力	自分の生活や社会の課題について，複数の解決案をつくり，提案している。
コミュニケーション力	オ 語学力	授業で培った英語の4技能を，様々な場面で活用している。
	カ 言語的コミュニケーション力	発表では聞き手の反応を確認しながら豊かに主張を伝えることができる。聞き手の質問に対して自分の考えを理論的に答えることができる。
	キ 情報活用力	情報収集を，フィールドワークや専門家等のインタビューまで広げている。その情報をもとに自ら調査・実験・観察を行い，オリジナルなデータも一部にある。引用とオリジナルなデータを明確に区別している。
ク 多様性		地域と日本あるいは世界のシステムとを比較して地域の特性を理解し，地域貢献の方法を考察し，それを自分の生き方に活かそうとしている。
ケ 協働性		課題解決に向けて，チーム内で自己の役割を果たし，他のチームを支援することができ，対話の中でお互いが納得できる解決策を導くことができる。
コ 行動力		期待する社会の未来像を自分なりに描き，その実現に向けた自らの将来像に基づいて進路志望の幅を広げている。
サ 健康・体力		学習，部活動，生徒会活動，学校行事の二つ以上で全力を尽くそうと実際に行動し，そのための生活習慣が確立できている。
シ 豊かな人間性		主体的な挑戦とその振り返りによって一つの自信を得て，さらに新たな挑戦を開始している。

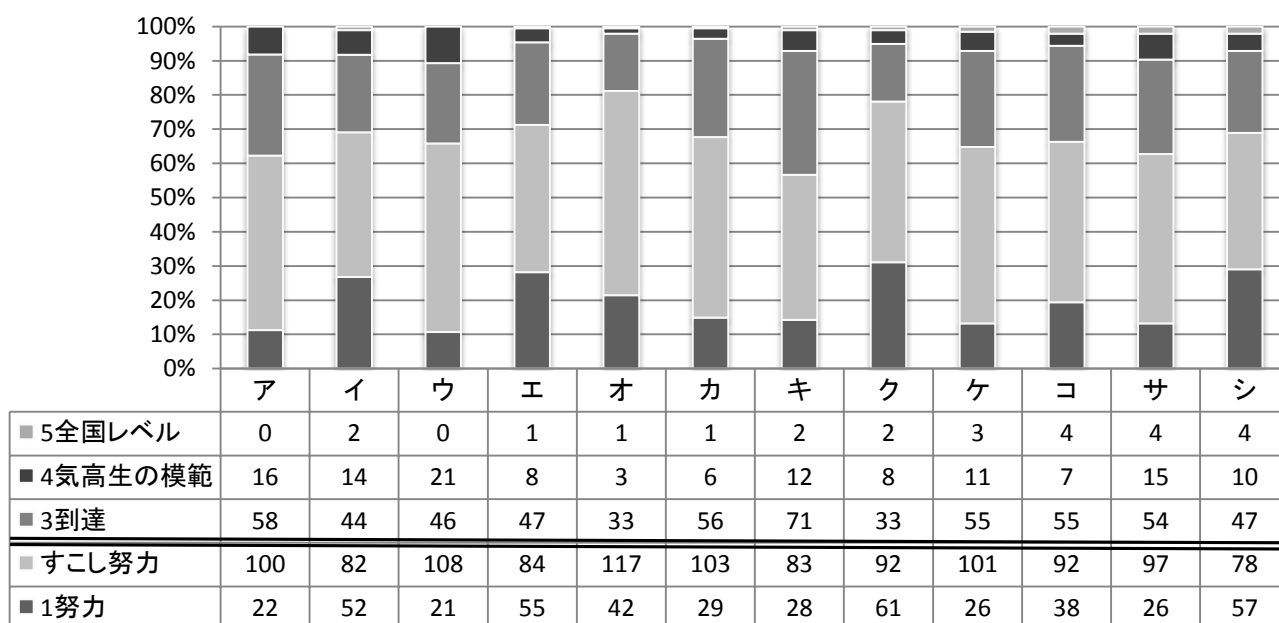
【資質・能力の段階3以上の到達に関係した19の取組：3位までの結果は2月のみ掲載】

- ①授業や課題研究における他者との意見交換 ②講演会（教育講演会，防災講話，進路講話など）
- ③講座（地域理解講座やテクニカル講座など） ④フィールドワーク ⑤スライドやポスターセッションによる発表 ⑥「総合的な学習の時間」における志教育 ⑦短期留学，語学研修，台湾研修，APU研修 ⑧大学の先生や専門家からのアドバイス ⑨大人との交流（キャリアセミナーなど）
- ⑩C-u-b-e（英語を使ったさまざまな活動） ⑪英語コンテストに関する取組 ⑫防災訓練
- ⑬生徒会・委員会活動 ⑭外部での発表会 ⑮他校との交流会 ⑯気仙沼市やNPO法人などが主催する企画への参加 ⑰フォーサイトの活用（生徒が使用しているスケジュール帳） ⑱読書
- ⑲その他（マークシートにア～シの項目と具体的な活動を記入）

1年11月 GL自己評価

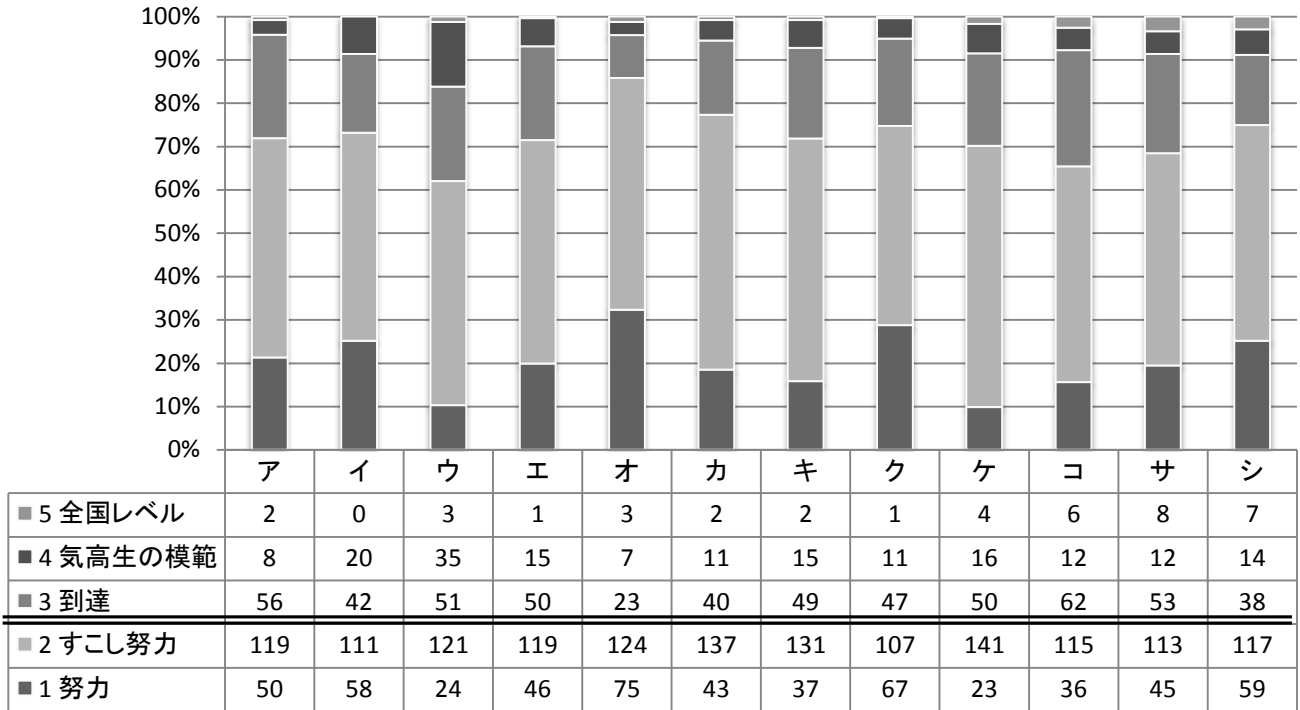


1年2月 GL自己評価

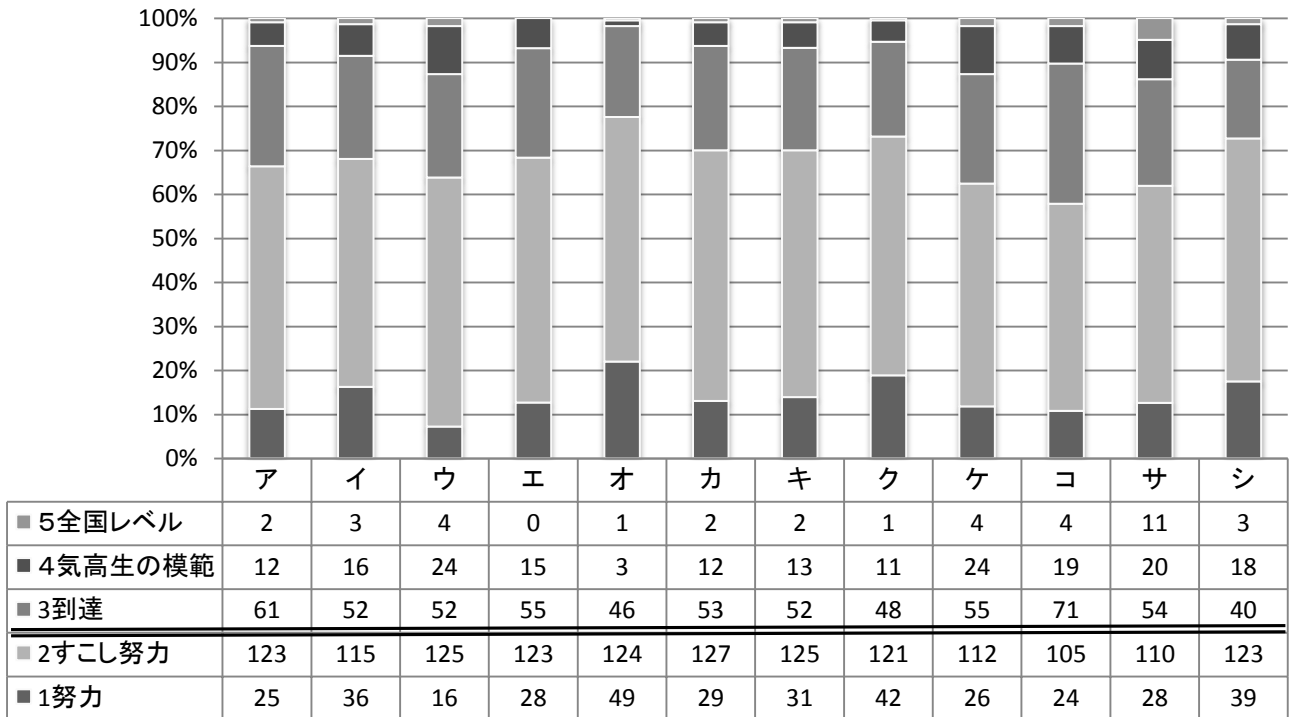


理由	1位	1授業	1授業	1授業	4FW	1授業	5発表	4FW	4FW	1授業	2講演会	18フォーサイト	1授業
	人数	27	24	30	18	12	8	44	14	37	17	20	21
2位	18フォーサイト	18フォーサイト	4FW	5発表	19読書	1授業	8専門家助言	1授業	5発表	6総学	1授業	5発表	
	人数	19	17	19	13	6	6	26	13	19	13	16	9
3位	2講演会	2講演会	8専門家助言	1授業			5発表	3講座	4FW	9大人交流	14生徒会	4FW	
	人数	17	12	17	12		21	11	16	9	9	7	

2年11月 GL自己評価



2年2月 GL自己評価



理由	1位	1授業	1授業	1授業	1授業	1授業	1授業	5発表	1授業	1授業	6総学	1授業	1授業
	人数	41	32	33	20	25	30	25	15	33	21	18	20
	2位	¹⁸ フォーサイト	⁸ 専門家助言	5発表	5発表	5発表	5発表	1授業	5発表	5発表	2講演会	¹⁸ フォーサイト	6総学
	人数	10	14	28	18	8	20	18	10	23	18	15	9
3位	2講演会	¹⁸ フォーサイト	6総学	6総学		6総学	4FW	6総学	6総学	6総学	1授業	13,14	14生徒会
人数	9	13	15	16		9	14	10	15	17	7	9	

平成30年度は新統合校のスタートになります。2年間、生徒並びに職員を支えていただいた皆様に厚く感謝申し上げますとともに、次年度以降もご協力を賜りますようお願い申し上げます。